

# ひまわり



第16回 福祉の絵手紙 理事長賞受賞作品 佐藤 重昭 様

- 2 新型コロナウイルスへの対応について  
職員マンション「パブリカ」竣工
- 3 牧野講師のミンダナオレポートvol.8
- 4 連載vol.41◎ [記録に残したい記憶]  
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 5 職員交換研修  
連載◎マジックワード紹介
- 6 ▶ 9 各施設トピックス
- 10 ▶ 11 福寿園ニュース
- 11 家族会だより
- 12 連載◎New ひまわりギャラリー  
連載◎ボランティアさんいつも  
ありがとうございます  
連載◎外国人介護福祉士候補者  
リレーインタビュー

150号

令和2年3月10日

## 新型コロナウイルスへの対応について

令和2年3月2日  
社会福祉法人 福寿園

現在、国内で発生している新型コロナウイルス感染予防について、国から示された基本方針により当法人では下記のとおり対応いたします。

ご面会、ご来園の皆様におかれましては、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### (入居者へのご面会、ご来園について)

1. 入居者の面会者については玄関で検温をお願いし、37.5℃以上であれば面会を控えていただきます。
2. 1と同様、関係業者についても館内に立ち入る場合は、玄関で検温をお願いし、37.5℃以上であれば入館を控えていただきます。
3. 上記により入館する際、手指消毒の上、入館証とマスクのご着用をお願いします。
4. 面会場所は、施設が指定する場所に制限させていただきます。

### (ご利用者へのサービス提供について)

ショートステイ、デイサービスのご利用者には利用前、送迎時に検温をお願いし、37.5℃以上であれば利用を控えていただきます。

### (職員について)

職員については、インフルエンザ特別警戒期間と同様に平常時の予防に努めております。また、出勤前の検温を義務づけ、37.5℃以上あれば出勤を控えております。

### (その他)

今後、国内や地域での感染状況、国、県、市町からの通知等により対応してまいります。



この度、豊田地区に2つ目の職員マンションが完成し、2月14日に竣工を迎えました。豊田福寿園のすぐ近くに位置し、主に県外からの採用者や外国人介護士等が入居します。職員マンション名は「パプリカ」です。色鮮やかなパプリカのように、様々な国と地域から来る職員の個性が名前に表現されています。

# 職員マンション 「パプリカ」竣工！



# 牧野講師の ミンダナオ レポート Vol.8 初めて 病院へ!



福寿園では将来の人材確保対策として、フィリピンのミンダナオ国際大学と協定を締結し、大学内で日本語教室を独自に開設しています。法人からも牧野講師を派遣し、日々、悪戦苦闘しながらも、授業をしている様子子をレポートいたします。



病院の正面玄関



まず、会計で支払い

何でも「見てみよう」「体験してみよう」という5年前にダバオに来て以来の気持ちは、今も持ち続けています。そのような中、昨年の8月半ば、とうとう病院にかならなければならなくなりました。ミンタルで行われた「慰霊祭」（昔ダバオに入植した日本人の墓があり、毎年の行事になっている）に出席した後、帰りの車の中で、体がだるくなり、頭痛も、シートに座っていても、車が揺れるたびに、頭まで「ズキン、ズキン」と伝わって来ました。同行した方との食事会も早々に家に帰り、部屋で寝ていました。夜、目が覚めても一向によくならず、あくる朝、病院で診てもらうため、宿舎のメイドさんに付き添ってもらい、病院へ。こちらで病院で診てもらうことは、噂にも聞いていたので、よほどのことがない限り、行くことは避けたいです。しかし、その時ばかりは「藁にも縋る」の言葉通りの体調、やむを得ず診てもらうことにしました。病院に着く

とまず、受付でお金を払い、領収書を持って、検査室へ。一時間ほど待たされたあと、採血と検尿。午後2時から医師の問診と検査結果を聞くためにもう一度来るようにとのこと。午後から再度受診。受付で、医師の診察のためのお金を払ってから一時間待たされました。医師の診察の際、熱が少しあり、喉も痛い旨伝えました。医師からは検査結果がよくないから、また明日検査をするということになりました。ここでは日本と違い、先にお金を払ってから診てもらう、薬をもらうというシステムになっているようです。薬をもらい言われた通り飲み、喉の痛みも熱も下がってきましたが、言われた通り次の日の午前中に、また受診しました。今度は、腹部の検査をするということで、検査30分前に水をリットル？飲むという指示。それだけの量を一気に飲むことができるかどうか困惑しましたが、飲むしかないと思えば飲んで飲み、その後、腹部エコー。午後からま

た医師の診察。特に異常はないということで一安心、帰宅しました。ところが、そのころから、体中に湿疹ができて、痒くてたまりません。これは「薬疹？」ではないかと思

い、もう一度、病院で診てもらおうとも思いましたが、診てもらったのちに一日がかりになるのではないかと思い、薬をやめて様子を見ることにしました。幸いその頃には熱も下がり、喉の痛みも無くなっていました。1週間ぐらいすると予想通り、湿疹も消え、痒みも無くなりホットしました。私自身アレルギーはなく、今まで、日本の病院でもらった薬で「薬疹？」が出たことはなく、それが本当に「薬疹」です。



今は元気になりました



次に、検査室で採血・検尿

## 連載 ④

### 記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。



私は大正6年12月1日に、大分県の米水津村（現佐伯市）で、7人兄弟の4番目として生まれました。鳥羽一郎さんの歌「男の港」で知られる、鶴見崎灯台がある風光明媚な漁村で、実直な漁師の両親のもと、何一つ不自由を感じることなく育ちました。

20歳の頃、姉が大分市内の食堂で働いていた縁で、同じ店で働き出し  
ました。そこで夫と運命の出会いをしました。私よりかなり年上で、亡くなった先妻との間の2人の子供とお姑があり、顔つきも険しかったということもあり、両親に猛反対され無理やり故郷の米水津村に戻されてしまいました。しかし、駅から10km程もある峠道を、歩いて迎えに来てくれた夫の想いに心を打たれ、両親の反対を押し切り、風呂敷一つ持って、夫のもとに嫁ぎました。

私は2人の子供の母親として、妻として、大分市内で幸せに暮らしていたのですが、結婚から6年ほど経った終戦の前の年に、夫が病死してしまいました。残された2人の子供達を何としてでも育てなければという思いで、亡き夫が支配人をしていた鋳物工場の現場で必至に働き、戦後の混乱期を乗り越え、2人の息子を無事、高校を卒業させることができました。社会人になった子供たちはそれぞれ家を出て就職したため、故郷である村に帰り、縁あって優し  
い男性と再婚し、2人で駄菓子屋を営んでいましたが、その男性も亡くなったため、お店をたたみ、1人で暮らしてしまいました。



今村 キクノ  
(東海福寿園)

### プロフィール

生年月日…大正6年12月1日  
年齢…102歳  
出身…大分県米水津村  
好きな言葉・口癖…おおきに  
気を付けてな

次男は、「自分が小さい頃に、母親として初めて家に来た時の嬉しかったことは、今でも忘れられない。良いお袋が来てくれて本当に嬉しかった。身を粉にして自分を育ててくれたお袋に感謝している」と言ってくれ、私をととても大事にしてくれました。私も東海市に来て、共働きの息子夫婦に代わり孫の面倒を見ながら、地域の老人会や、サNDERー会に参加し、充実した毎日を過ごしていましたが、だんだん体が動

かなくなり、東海福寿園ができた時にこちらに入所させてもらいました。それから12年、私も102歳となり、今は、毎週欠かさず会いに来てくれる、息子夫婦、孫に会うことが唯一の楽しみになっています。



孫と嫁と名古屋城にて

# 職員交換研修

福寿園では毎年、法人のスケールメリットを活かした研修体系の一環として、施設間での職員交換研修を実施しています。今年度も2月3日～5日、10日～12日、17日～19日の日程で行われました。職員個人の資質の向上を目的とし、入社2～4年目の職員を対象に、総勢41名の職員が、それぞれの目標を掲げ研修に臨みました。

**田原福寿園**  
介護職  
赤瀬 はるか



2月17日～19日  
ひまわりの街へ

初めての交換研修で緊張しましたが、沢山の職員さんに話しかけて頂き、緊張が解れました。施設の雰囲気や利用者さんの過ごし方を知ることができました。自分の施設との違いや取り入れたいことを学ぶことができて、とても勉強になった3日間でした。

利用者さん職員さんの笑顔が常に溢れていて、施設の雰囲気が明るく感じました。研修先のショートステイと自施設のショートステイとの違いや良い所を持ち帰り、これからの仕事に活かしていきたいと思っています。

**みなみ福寿園**  
調理員  
山田 亜美



2月10日～12日  
渥美福寿園へ

初めて他地区の施設へ行くということもあり戸惑いを感じていました。研修を経て同じ従来型の施設であっても、

仕事の流れに違いが多くあることを学びました。

渥美福寿園では毎日清掃時間が設けられており、職員の掃除に対する意識が高いと感じました。自施設でも衛生管理への意識をさらに高めていきたいと思っています。また、献立には福寿園がモットーとする家庭的な食事内容が沢山組み込まれており、参考にしていきたいです。

交換研修を通して、自施設の改善点や逆に良い所も知ることができ、とても有意義な研修になりました。

**ちた福寿園**  
介護職  
赤羽 悠



2月10日～12日  
花の里へ

花の里は、施設の作りとして、ユニット内の大きな窓から日光が入り、ユニット全体が非常に明るくなっています。また、各ユニットが独自の飾りつけを行うことで「ユニットのカラ」が出ていて、ご利用者が楽しく過ごせる環境が整っていると思いました。また、施設内の扉の施錠がなく、ご利用者が自由に行き来されている姿を何度も拝見しました。非常に開放感があり感動しました。今回の研修で、私の施設とはまた違うユニットケアを学ぶことができて、大変勉強になりました。

## 連載⑦

# 介護現場で生まれた

## マジックワード100

老人福祉施設のスタッフや入居者の生の声から紡ぎ出された小さな物語の数々

福寿園が発行した書籍「介護現場で生まれたマジックワード100」について、皆様よりお陰様で多くの反響が寄せられました。1ワードずつ感想を添えてご紹介いたします。



### みき枝さんは、どうしたいですか。

特別養護老人ホームで生活しているみき枝さんは、寂しくなると落ち着かなくなり「家に帰りたい」と口にします。ある夜の午前1時頃、「お〜い、お〜い」と居室から声が聞こえ、お部屋に向くと「帰るからね」と言って、ベッドから起き上がりました。真っ暗な外を見ても納得されず、私の横に座ってもらって、「みき枝さんは、どうしたいですか」と尋ねました。

「お姉ちゃんと待っていたいの」。「みき枝さんは私の隣に座ってご家族のお迎えを待ちたいようでした。夜間、寂しくなって帰宅したくなったりしますが、そばにいただけで安心して過ごされます。この日

のみき枝さんも、ホットミルクを飲んで、話しているうちに「眠くなったから寝るね」と言って、安心して眠りにつきました。

今何をしたいのか聞くことで落ち着かれるケースも多いです。これからご利用者の思いを尋ねながら接していきたいです。

(特別養護老人ホーム・介護職員)

あくまでも本人の意見を尊重する。当たり前だけど、なかなか意識できない。

・時間に追われる現場の中で、お年寄りのペース、思いに寄り添った言葉は最も安心してもらえ、大切だと思います。

## 武豊福寿園

### 手作り神社で初詣〜職員家族力作〜



毎年近くの神社へ初詣に出かけていましたが、インフルエンザの流行もあり、今年は室内で全員の方が参加できるよう、職員と職員の家族力作の鳥居を作りました。金子神社と命名し、さい銭箱、おみくじ、絵馬も準備しました。おみくじに一喜一憂し、絵馬に願いことを書いて車いすにつけるなど、初詣気分を楽しんでいただきました。

## 豊田福寿園

### 本川先生との大切な時間

長年、書道の指導をしてくださった本川先生が、先月他界されたとの訃報が入りました。「自分の年も年だから：今年の書初めを最後の活動にしたい」との申し出があり、クラブ参加者は、より一層熱心に、先生の指導を受け練習してきました。書初め大会当日は、残念ながら先生不在での実施となりましたが、先生に教わったことを思い出しながら、一筆一筆、書を認めました。

本川先生、今までありがとうございました。



## ケアハウスパシフィック

### ミニライブ開催!



2月4日、シンガーソングライターの松尾貴臣さんによるミニライブが開催され、ギター演奏と共に力強い歌声を聞かせていただきました。昔懐かしい曲「川の流れるように」や「故郷」では、入居者さんも手拍子しながら一緒に口ずさむ姿も見られました。また、祖父との思い出をつづったオリジナル曲「へんべいそく」では、思わず感動して涙を流される方もみえました。ライブ後は、「すごく良かった。こんなに贅沢な時間を過ごせてありがたいよ」と喜びと感動の言葉で溢れていました。

## 田原福寿園

### 祝!! 100歳

大正9年2月1日生まれのお秋野すみ枝さんが、めでたく100歳の誕生日を迎えました。ご家族も来てくださり、

にぎやかにお祝いすることができました。手作りのプリンケーキ・ティラミスを味わいながら、そして職員お手製のお祝色紙のプレゼント。すみ枝さんの最高の笑顔を見ることができ



ました。まだまだこれからも、たくさんのお思い出と一緒に作っていきたくて願っています。次は茶寿のお祝いですね。いつまでお元気でいてください♡

## おやつレクリエーション



毎月2回、厨房職員さん協力のもと、デイサービスセンターきぬうらではおやつレクを実施しています。2月13日はバレンタインデー前日ということもあり、チョコバナナを作りました。ミルクチョコレイトとホワイトチョコレイトの2種類で、チョコスプレーやクッキーを砕いたものなどを用意。自分で作る楽しさもあるため、男性の利用者さんにも好評で、中には口の周りにチョコレイトが付いてしまい、利用者さん同士で笑いあっている姿も見られました。さて、次回は何にしましょうか？

## ひな人形飾りつけ

今年もひな人形がお目見えしました。職員とご利用者の方たちで、7段飾りの豪華なひな人形の飾りつけをしました。皆さん口々に「わく！素敵だね」と喜ばれていました。託児の子供達も、目をキラキラさせながら見入っていました。桃の節句後は5月人形の飾り付けを行いますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください♪



## 東海道五十三次ウォークラリー



10月よりひまわり邸では、「東海道五十三次ウォークラリー」元気な高齢者を目指して」と題し、施設内でウォークラリーを始めました。事務所で「管理者シール」をもらい、それぞれの台紙にある東海道五十三次の宿場に順番に貼っていきま。中間地点・最終宿場までシールが貯まると粗品がもらえるので、皆さん毎日のように事務所へ足を運んでくださいます。

健康のため、粗品のためと目標はそれぞれではありますが、皆さんの日々の楽しみとなっております。

## 就労支援センターカラオケ大会

2月16日、デイサービスセンターのカラオケを利用して、就労支援センターの利用者カラオケ大会を行いました。普段は掃除などお手伝いをしているデイホールで、焼き立てピザなど食事をしながらのカラオケは大盛り上がりとなり、皆の普段と違う一面も見えました。大好きなジャニーズ、AKB、菅田将暉の「まっちゃんがさがし」等、流行の曲を大熱唱。最後はみんなで片付けと掃除をしっかりと行え、今後の仕事の活力になりました。



### お食事会で楽しいひととき

1月23日、すみれユニットの入居者さんご家族を招待し、恒例の企画食を行いました。普段はあまり調理をしない職員も一生懸命準備をし、『混ぜご飯・ちくわの磯部揚げ・酢の物・茶碗蒸し・みそ汁』を作りました。普段とは違う食事の雰囲気に入居者さんの箸はいつもより進んでいました。参加いただいたご家族からも『美味しいね』と喜んでいただくことができました。

何よりご家族と一緒に食べる食事は、入居者の方達にとって一番の嬉しさだったと思います。



### バレンタインスナックで乾杯!



2月14日、スナックが開催されました。夕食のお寿司をつまみに、お酒やジュースで乾杯! 続いてスナックメニューのたこ焼きや卵焼き、枝豆も注文し、お腹いっぱい。食後のおやつには、チョコレートの盛り合わせを頬張り、おしゃべりに花が咲きました。

そして、カラオケ大会が始まり、自慢のものを競い合いました。みなさん歌が大好きで、リクエストはまだまだ続きましたが、最後は全員で「リンゴの唄」を歌いお開きに。鼻歌を歌い、楽しい宴の余韻を楽しみながら、それぞれのお部屋に戻られました。

### 白寿祝

白寿を迎えられた笠木ふさ子さん。ご家族にもお越しいただき、お祝いの会を開催しました。職員手作りのちゃんちゃんこを羽織り、皆さんから歌や拍手でお祝いしてもらって「こんなにしてもらって…」と涙を流して喜んでくださいました。好物のちらし寿司やお誕生日ケーキも召し上がっていました。いつまでもお元気で過ごされますよう、心よりお祈りいたします。



### ひまわりの街 綺麗な音色

ひまわりの街地域包括支援センターでは、毎月1回、1階ロビーにて、地域のボランティアさん協力のもと、ひまわりカフェ（認知症カフェ）を開催しています。1月24日には、職員によるオカリナ・パラグアイハープのミニ演奏会と、ネイリストを講師に招き、認知症予防を目的としたネイル体験を開催しました。参加者の方々は男女問わず楽しまれ、大変盛り上がりました。地域の方の参加はもちろん、ボランティアさんも常時募集していますので、興味のある方は是非ご参加ください。



みなみ福寿園  
**鬼は外！福は内！**



2月3日に節分祭が行われました。今年はお利用者から「お寿司が食べたい」という声が多く、各フロアで寿司バイキングを実施しました。目の前で握ってもらうお寿司は一段と美味しく、大絶賛でした。今回の目玉イベントとして、ブリの解体ショーが開催され、ご利用者も職員も皆釘付け状態に。見事な包丁さばきで50cmもあった大きなブリが、あっという間に新鮮なお刺身に。解体後、皆で美味しくいただきました。鬼退治では、赤鬼・青鬼それぞれを鬼を目掛けて豆まきを行いました。前のめりになりながらも必死に豆を投げ、無事に鬼退治をすることができました。ご利用者からは満足げな笑みもみられ、楽しい節分祭となりました。

渥美福寿園  
**春を先取り**

毎年1月～3月に掛けて、渥美半島では菜の花まつりが行われています。沿道に咲く黄色の花々は、車窓からでも人々の目を引き、思わず足を止めてしまいます。今年は暖冬の影響からか、1月にはすでに黄色の菜の花畑が見頃を迎えているところもあり、渥美デイサービスの利用者の方と、一足早く春の訪れを満喫して来ました。菜の花畑には、渥美半島の各地で長年親しまれてきた赤い丸ポストが黄色に彩られ、幸せを願う『黄色の菜の花ポスト』に大変身して迎えてくれました。他にも菜の花ランウェイやブランコなど、回り切れていないところがたくさんあったので、次回また行く時の楽しみに取っておきたいと思います。



くすのきの里  
**お好み焼きパーティー**



1月24日にすずらん・ぼたんユニット合同で、入居者と職員で一緒にお好み焼きを作りました。入居者からの「何か変わったもん食べるんだってねえ」との声と共に、キャベツを切る音をBGMに、焼いた香りが立ち、にぎやかな雰囲気。食欲のない方も「おかわりある?」「美味しかった!」「お腹いっぱい!」と笑顔がみられ、とても満足されていました。「次は何が食べたいかな?」とリクエストも飛び交っていました。



田原ゆの里  
**ひな祭り展へ**

渥美郷土資料館の雛人形鑑賞へ、グループホーム・特養と合同で出かけました。食事処「むらかみ」にて昼食をとり、いざ資料館へ!館内には、たくさんのお雛が飾られ、大正時代の雛人形もありました。どの人形も優しいお顔で、自然と皆さんの顔もほころびます。会話の中で「私が生まれる前からあるなんてすごいわね」と、昔はケースに入っていた人形が多かったよ」と教えてくれました。また道中、菜の花や梅の花



花を見ることができ、一足早い春の訪れを感じることができました。

## 介護福祉士国家試験に向けての直前合宿

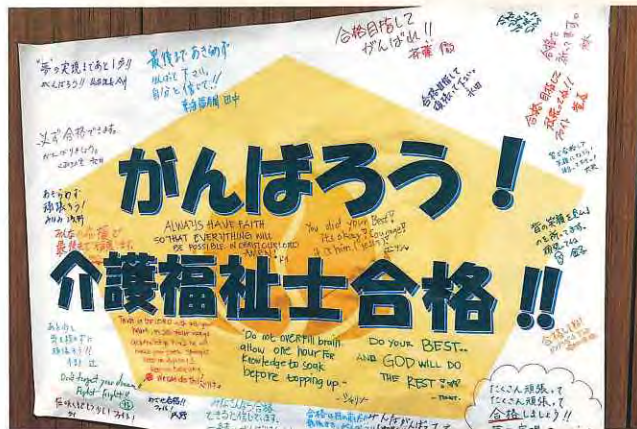
1月26日に介護福祉士国家試験が全国一斉で行われました。

福寿園では毎年実施している、EPA介護福祉士候補者の直前合宿を、1月10日～23日にわたり、法人本部のひまわりホールで行いました。今年のエPA介護福祉士候補者の受験者は10名です。

合宿では、模擬試験を本番同様の時間で行い、個々の苦手な科目を復習しました。その後、自己学習をしたり、グループになって分からないところを教えあったりと、それぞれ工夫しながら夜遅くまで学習を進めました。

合宿最終日には閉講式を行い、一人ずつ合宿での成果を発表しました。途中、涙ぐむEPA介護福祉士候補者もあり、合宿が有意義なものであったことが伺えました。

合格発表は3月25日です。それまでEPA候補者はそわそわと落ち着かない日々が続きますが、合格者が一人でも多く出ることを願っています。



## 大相撲星取予想 年間MVP決定

毎年恒例の法人内施設全体による大相撲星取予想年間上位者が発表されました。今年度は東海福寿園の山田鉄雄さんが優勝に輝き、理事長より賞状と記念品が贈られました。



順位	名前	施設名	総得点
一	山田鉄雄	養護老人ホーム東海福寿園	355,880
二	紅林まつよ	養護老人ホーム福寿園	355,550
三	小林新蔵	養護老人ホーム福寿園	355,550
四	掛橋勝治	養護老人ホーム福寿園	355,510
五	後藤壽夫	ケアハウスバシフィック	355,500
六	狭原源文	ケアハウスきぬうら	355,400
七	今村 勇	ケアハウスきぬうら	355,390
八	太田 洋	養護老人ホーム福寿園	355,300
九	野村美津子	ケアハウスきぬうら	355,300
十	鈴木悦子	養護老人ホーム東海福寿園	355,300

令和元年度(平成31年春場所)～令和2年初場所)  
大相撲星取予想 法人年間総得点ベスト10

## 第10回 東三河日本語スピーチコンテスト

1月26日、東三河5市から選ばれた外国人市民による「東三河日本語スピーチコンテスト」が開催されました。田原ゆの里のクリスティンさんが田原市代表として出場し、日本語の美しさを題材に、方言である「三河弁」を織り交ぜながらのスピーチで、見事最優秀賞に輝きました。「日本は私の第2の故郷ですから、美しい日本語を第2母国語として大切にしていきたい。」と心のコもった素敵なスピーチでした。



## ソフトバレーサークル開催



2月16日、足助トレーニングセンターにて第3回ソフトバレーサークルを開催しました。各施設から合計37名が参加し、和気あいあいと、気持ちの良い汗をかきました。今回の優勝は花の里チーム! 職員の親睦も深められ、楽しい一日となりました。

## QC発表大会開催

今年度も法人全体で89サークルが立ち上がり、職場改善に向けて、福祉QCサークル活動に取り組みました。2月に各施設にてQC発表大会が行われ、それぞれ活動の成果を発表しました。3月10日に予定されていた法人発表大会は、新型コロナウイルス感染症対策として開催を延期しました。



## 家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

### 東海福寿園 家族親睦会勉強会

2月9日、家族親睦会勉強会を開催し、講師として公立西知多総合病院の医療ソーシャルワーカーの方3名にお越しいただきました。

「人生の最期に向けてあなたの願いはなんですか?」というテーマで、アドバンス・ケア・プランニングを踏まえて講義をいただきました。その後4人1組になり、「もしバナゲーム」を行い、余命わずかの想定で、より大切にしたいことについて、お互いの価値観を話し合いました。ご家族様同士の交流の場になったと共に、最期の時のことを考えるよい機会になったのではないかと思います。

### ちた福寿園 家族会勉強会

2月16日、家族会勉強会として、QC発表を行いました。ちた福寿園では、今年度から本格的にQC活動に取り組むことができました。参加された24名のご家族からは、「忙しいのにしっかり分析をされて、サービスの改善に努めてくれることが分かりました」とお言葉をいただきました。QC発表後、カレーバイキングで更にご家族との交流ができました。今後ともご家族と共に、入所者のより良い生活を支援していきたいと思えます。



連載

# ボランティアさんいつも ありがとうございます

日頃、施設でお世話になっています  
ボランティアさんを紹介させていただきます。

養護盲福寿園

## 器楽クラブ

講師 福井厚子 先生



月に2回、器楽クラブの講師として来園され、視覚障害を持つ入所者に音楽の喜びを伝えてくださいます。

音楽の指導における豊富な経験を生かしたクラブ活動はとても楽しく、入所者の皆さんは開催を心待ちにされています。

文化祭や行事での発表の前には、毎週ご指導いただくこともあります。日頃閉じこもりがちな入所者に、生活の潤いと生きがいを与えてくださっています。

長年ご指導いただき、ありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。



連載

福寿園では、現在63名のフィリピン人、5名のベトナム人介護士が10施設に分かれて働いています。毎月一人ずつ紹介します。

# 外国人介護士 リレーインタビュー

- Q なぜ日本に来ようと思われましたか?
- A 子供の頃から家族のために海外で働くことが夢だったからです。
- Q 日本に来て一番驚いたことは何ですか?
- A 運転手のいない電車に乗ったときです。
- Q 休日は何をして過ごしていますか?
- A 歌を聞いたり、リラックスする為に公園や海に行ったりもします。
- Q 好きな日本食、嫌いな日本食を教えてください。
- A 好き嫌いはないですが、特に好きなのは寿司とラーメンです。
- Q 将来の夢は何ですか?
- A 介護福祉士に合格!いつか家族の為に家建て、自分のビジネスもしたいです。
- Q 日本で行ってみたい場所はありますか?
- A 愛知県にはあまり雪がないので、北海道で雪を見たいです。
- Q 最後に一言お願いします。
- A 一年後に国家試験を受けるので、後悔しないように勉強を一生懸命頑張ります。



イコイ・サラ  
ニックネーム  
サラ  
ひまわりの街

## New ひまわり ギャラリ

入居者・利用者さんの作品  
をご紹介します。

作品

### 変わり折鶴



ケアハウスきぬうら入居者

基礎の折れ線をしっかり折ると、仕上がりがきれいになります。自分で工夫した変わり折鶴を考えるのが楽しいです。



令和2年3月10日発行

発行/社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008  
https://www.fukujuen.or.jp

理事長/山田浩三

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。